

# ボランティア交流会新聞

## みまもりサポーター 養成講座 ゆっくり 始動!!

令和3年



3月



号

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和2年11月～12月に行う予定だった「みまもりサポーター養成講座」を延期していましたが、感染者数の減少に伴い、感染症対策を実施しながら少しずつ行っています。

令和3年3月16日(火)にプログラム①「みまもり訪問って何だろう?」を開催、7名参加いただきました。みまもり訪問の内容や、みまもりサポーターになるまでの流れ、役割についてお話をいただきました。また、現役サポーターさんから体験談をお聞きし、そのあとは皆さんで意見交換をしました。



みまもりサポーター養成講座の様子

令和3年3月23日(火)はプログラム②「私たちの町にはどんなサービスがあるの?」～東川町の福祉のサービスについて～を開催、7名参加いただきました。この講座では高齢者向けサービスを重点的にご紹介しています。どんな内容のサービスを紹介したのか気になる方は、次回ぜひご参加ください☆



二瓶千里さん

初めまして。東川町の生活支援コーディネーターの二瓶千里です。東川町役場の保健福祉課に在籍しております。

生活支援コーディネーターの  
二瓶さんにコメント  
いただきました!!

生活支援コーディネーターは別名「地域支え合い推進員」と言って住民の皆さんが住み慣れた地域で自分らしく暮らして行けるように生活の困り事や高齢者の介護予防などの体制づくりを進めています。具体的には、地域で囁かれている「ちょっとした困り事」を知ることや「地域にはこんな活動もあるんだ」と把握して情報をわかりやすく人と人、人と支援を伝えつなぎます。地域の皆さんと地域関係機関のネットワークづくりも推進します。

ひと世代前ならば、二世帯や三世帯家族が多かったことで家族や兄弟、ご近所同士で自然と行っていた助け合いが、今は時代とともに希薄化していることで、少なくなっています。ご近所や知人同士の「おたがいさま」がどんどん増えていくことを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。地域の皆さんで身近なところで「おたがいさま」の輪を広げましょう。生活支援コーディネーターはそのメンバーの一人です。

遠藤のつぶやき

1月～3月の間に2回に分けて合計4週間程度介護休業をいただき、北見の実家に行っていました。子ども2人を連れて、介護休業。長男は小学校に通っているのですが、北見の学校に通わせました。引っ越しではないので、住民票を移すことができないので、学校は転校ではなく体験入学という形で通わせてもらいました。長男は学校で、進んで手伝いをし、すぐに友達もでき、学校になじんだそうです。北見の学校の担任の先生からは「生活力のある子」と褒めてもらいました。制度や、息子の意外な一面についても学ぶことが多かった介護休業。いい経験させてもらいました。



発行：東川町ボランティアセンター

TEL 82-7505